生駒市条例第 1 号

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例をここに公布する。

令和 7 年 3 月 1 3 日

生駒市長 小 紫 雅 史

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
(生駒市個人情報の保護に関する法律施行条例等の一部改正)

第 1 条 次に掲げる条例の規定中「懲役」を「拘禁刑」に改める。

- (1) 生駒市個人情報の保護に関する法律施行条例（令和 4 年 1 2 月生駒市条例第 2 6 号）附則第 3 条第 4 項及び第 5 項
- (2) 生駒市議会の個人情報の保護に関する条例（令和 5 年 3 月生駒市条例第 7 号）第 5 5 条から第 5 7 条まで
- (3) 生駒市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例（平成 2 8 年 6 月生駒市条例第 3 7 号）第 1 5 条第 1 号ア、第 3 9 条及び第 4 0 条
(生駒市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正)

第 2 条 次に掲げる条例の規定中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

- (1) 生駒市の一般職の職員の給与に関する条例（昭和 3 2 年 7 月生駒市条例第 2 3 号）第 1 5 条の 2 第 3 号及び第 4 号並びに第 1 5 条の 3 第 1 項第 1 号及び第 5 項第 1 号
- (2) 生駒市職員の退職手当に関する条例（昭和 4 7 年 1 0 月生駒市条例第 3 0 号）第 1 3 条第 1 項第 1 号及び第 5 項第 2 号、第 1 4 条の見出し及び同条第 1 項第 1 号、第 1 5 条第 1 項第 1 号並びに第 1 7 条第 4 項
- (3) 生駒市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例（昭和 4 2 年 1 0 月生駒市条例第 1 7 号）第 4 条第 1 号

(生駒市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正)

第3条 生駒市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例(昭和39年7月生駒市条例第39号)の一部を次のように改正する。

第6条第1号中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、刑法等の一部を改正する法律(令和4年法律第67号。以下「刑法等一部改正法」という。)の施行の日から施行する。

(罰則の適用等に関する経過措置)

- 2 この条例の施行前にした行為の処罰については、なお従前の例による。
- 3 この条例の施行後にした行為に対して、他の条例の規定によりなお従前の例によることとされ、なお効力を有することとされ又は改正前若しくは廃止前の条例の規定の例によることとされる罰則を適用する場合において、当該罰則に定める刑に刑法等一部改正法第2条の規定による改正前の刑法(明治40年法律第45号。以下この項において「旧刑法」という。)第12条に規定する懲役(以下「懲役」という。)(有期のものに限る。以下この項において同じ。))又は旧刑法第13条に規定する禁錮(以下「禁錮」という。)(有期のものに限る。以下この項において同じ。))が含まれるときは、当該刑のうち懲役又は禁錮はそれぞれその刑と長期及び短期を同じくする有期拘禁刑とする。

(人の資格に関する経過措置)

- 4 拘禁刑に処せられた者に係る他の条例の規定によりなお従前の例によることとされ、なお効力を有することとされ又は改正前若しくは廃止前の条例の規定の例によることとされる人の資格に関する法令の規定の適用については、無期拘禁刑に処せられた者は無期禁錮に処せられた者と、有期拘禁刑に処せられた者は刑期を同じくする有期禁錮に処せられた者とみなす。

(生駒市の一般職の職員の給与に関する条例の一部改正に伴う経過措置)

- 5 刑法等一部改正法及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律(令和4年法律第68号)並びにこの条例(次項においてこれらを「刑法等一部改正法等」という。)の施行前に犯した禁錮以上の刑(死刑を除く。)が定められている罪につき起訴をされた者は、第2条第1号の規定による改正後の生駒市の一般職の職員の給与に関する条例第15条の3第1項(第1号に係る部分に限る。)及び第5項(第3号に係る部分に限る。)の規定の適用については、拘禁刑が定められている罪につき起訴をされた者とみなす。

(生駒市職員の退職手当に関する条例の一部改正に伴う経過措置)

- 6 刑法等一部改正法等の施行前に犯した禁錮以上の刑(死刑を除く。)が定められている罪につき起訴をされた者は、第2条第2号の規定による改正後の生駒市職員の退職手当に関する条例第13条第1項及び第5項、第14条第1項(第1号に係る部分に限る。)並びに第17条第4項並びに生駒市職員の退職手当に関する条例第17条第3項の規定の適用については、拘禁刑が定められている罪につき起訴をされた者とみなす。